

2017年度

(平成29年12月4日)

第114回

通常総会資料



公益社団法人 草加青年会議所
2017年度 スローガン

誇り

目 次

第114回通常総会次第
1. 第113回通常総会議事録
2. 第1号議案
2017年度第2次補正予算（案）承認に関する件
3. 第2号議案
2018年度事業方針並びに事業計画（案）承認に関する件
4. 第3号議案
2018年度収支予算（案）承認に関する件
5. 第4号議案
2018年度公益目的事業計画書（案）承認に関する件
6. 第5号議案
2018年度資金調達及び設備投資の見込み（案）に関する件

公益社団法人 草加青年会議所 第113回通常総会 議事録

- 1 開催日時 平成29年9月22日(金) 19:29~20:08
- 2 開催場所 草加市中央公民館 第一・第二講座室
- 3 正会員60名 出席者数47名(内委任状有効者数13名) 定足数確認時
- 4 議決事項

- 第1号議案 2017年度 中間決算 承認に関する件
- 第2号議案 2017年度 補正予算 承認に関する件
- 第3号議案 2018年度 役員予定者等選任 承認に関する件

5 議長選任の経過

定刻となり、司会者大久保竜平君は開会を宣言した。議長選任について諮ったところ司会者一任の声があり、司会者はこのことについて諮ると全員異議なく賛同を得た。司会者はこれに基づき理事長加州洋介君を指名し、同君が議長に選任された。総務グループ事務局長三輪興之郎君より60名中34名の出席に加えて13名の委任状提出の報告がされ、正会員60名中47名の出席により定款21条に定める定足数の要件が満たされていることの確認がなされた。議長は本総会が有効に成立する旨を告げ、直ちに議事の進行に努めた。前回議事録の承認について諮ると全員異議なく賛同を得た。続いて議事録作成人を総務グループに、署名人は7項に明記した両君を指名した。新議題の採択がなく、本総会の議案は九月度理事会審議事項第4号通りに議事の上程を諮る旨を宣言し全員がこれを了解した。

6 議事の経過の概要及びその結果

(1) 第1号議案 2017年度 中間決算 承認に関する件

議長が上程者である為、議長は直前理事長である吉田浩士君を指名し、全員意義無く賛同した。議長の指名により、2017年度理事長加州洋介君より2017年度中間決算について上程を行い財政局長大久保竜平君より2017年度 修正予算報告 について報告がなされる。

その後、本件を諮ったところ全員異議なく賛同を得たので、議長は本件が承認された旨を告げた。

(2) 第2号議案 2017年度 補正予算 承認に関する件

議長が上程者である為、議長は直前理事長である吉田浩士君を指名し、全員意義無く賛同した。議長の指名により、2017年度理事長加州洋介君より2017年度補正予算について上程を行い財政局長大久保竜平君より2017年度 補正予算報告 について報告がなされる。

その後、本件を諮ったところ全員異議なく賛同を得たので、議長は本件が承認された旨を告げた。

(3) 第3号議案 2018年度 役員予定者等選任 承認に関する件

議長の指名により2018年理事長予定者齋藤真吾君より2018年度役員予定者等選任の件について報告がなされる。

その後、本件を諮ったところ全員異議なく賛同を得たので、議長は本件が承認された旨を告げた。

7 議事録署名人の選任について

議長は、本総会の議事録署名人として松原明子君及び細谷庄平君を指名したところ全員異議なく賛同を得たので、議長は両君が選任された旨を告げた。本総会の議決を証明するため、議長及び議事録署名人は記名捺印する。

平成 29年 10月 5日

議長 加州 洋介



署名人 岡本 英和



署名人 小島 雄太



監事 桑代 純一



監事 吉田 浩士



監事 山崎 直人



専務理事 松山 健



第 1 号 議 案 資 料

2017年度第2次補正予算（案）承認に関する件

一般会計収支第2次補正予算書(案)

公益社団法人 草加青年会議所 2017年度

自 2017年 1月 1日

至 2017年 12月31日

(単位:円)

科 目	2017年度2次補正予算	2017年度補正予算	増減	摘要
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 入会金収入				
入会金収入	400,000	400,000	0	20,000円×20名
② 会費収入				
正会員会費	5,320,000	5,640,000	▲ 320,000	120,000円×44名 40,000円×1名
新入会員会費	700,000	730,000	▲ 30,000	90,000円×1名 70,000円×1名 60,000円×3名 50,000円×2名 40,000円×2名 30,000円×3名 20,000円×1名 10,000円×7名
特別会員会費	1,368,000	1,494,000	▲ 126,000	18,000円×76名
賛助会員会費	24,000	36,000	▲ 12,000	12,000円×2社
③ 事業会計収入				
登録料収入	0	0	0	
広告料収入	36,000	36,000	0	18,000円×2社
④ 預かり金収入				
預かり金収入	336,000	336,000	0	日本JC大会登録料他
⑤ 寄付金収入				
寄付金収入	360,000	360,000	0	OB会
⑥ 雑収益				
受取利息収入	1,000	1,000	0	
その他雑収入	40,000	40,000	0	JCカード割戻金等
⑦ 他会計からの繰入金収入				
事業安定化会計繰入収入	900,000	900,000	0	
公益事業緊急対策会計繰入収入	500,000	0	500,000	
周年事業積立会計繰入収入	0	0	0	
退職金積立会計繰入収入	0	0	0	
事業活動収入計 (A)	9,985,000	9,973,000	12,000	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
拡大室				
会員拡大委員会				
担当例会事業費	300,000	300,000	0	
オープン委員会事業費	20,000	20,000	0	
委員会運営費	30,000	30,000	0	
新入会員記念品費	160,000	160,000	0	
わんぱく相撲運営費	150,000	150,000	0	
会員拡大委員会支出計	660,000	660,000	0	
拡大室支出計	(660,000)	(660,000)	(0)	
研修室				
会員研修委員会				
担当例会事業費	60,000	60,000	0	
オープン委員会事業費	60,000	60,000	0	
委員会運営費	30,000	30,000	0	
会員研修委員会支出計	150,000	150,000	0	
研修室支出計	(150,000)	(150,000)	(0)	
育成室				
青少年・国際交流委員会				
担当例会事業費	130,000	150,000	▲ 20,000	
企画事業費	650,000	630,000	20,000	春フェス・ユース等
オープン委員会事業費	30,000	30,000	0	

委員会運営費	30,000	30,000	0	
青少年・国際交流委員会支出計	840,000	840,000	0	
育成室支出計	(840,000)	(840,000)	(0)	
地域室				
地域開発委員会				
担当例会事業費	100,000	100,000	0	
企画事業費	1,200,000	1,200,000	0	
オープン委員会事業費	30,000	30,000	0	
委員会運営費	30,000	30,000	0	
地域開発委員会支出計	1,360,000	1,360,000	0	
地域室支出計	(1,360,000)	(1,360,000)	(0)	
総務グループ				
事務局・財政局				
担当例会事業費	80,000	80,000	0	
オープン委員会事業費	0	0	0	
委員会運営費	30,000	30,000	0	
総務関係費	600,000	600,000	0	ポケットブック作成費
報告書作成費	100,000	100,000	0	開発作成費
社団法人登録費	60,000	60,000	0	
記録費	10,000	10,000	0	
広報費	20,000	20,000	0	HP管理料
事務局財政局支出計	900,000	900,000	0	
総務グループ支出計	(900,000)	(900,000)	(0)	
選挙管理委員会				
選挙管理委員会				
担当例会事業費	8,500	8,500	0	
オープン委員会事業費	0	0	0	
公聴会関係費	3,500	3,500	0	
委員会運営費	20,000	20,000	0	
選挙管理委員会支出計	(32,000)	(32,000)	(0)	
特別事業支出				
50周年特別会議費	20,000	20,000	0	
特別事業費	300,000	300,000	0	サッカー大会・賀詞交歓会等
渉外事業費	430,000	93,170	336,830	登録料等
特別事業支出計	(750,000)	(413,170)	(336,830)	
事業会計支出				
登録料支出	0	0	0	
委員会事業支出	0	0	0	
周年事業支出	0	0	0	
事業会計支出計	(0)	(0)	(0)	
事業費支出計	【 4,692,000 】	【 4,355,170 】	【 336,830 】	()の合計
②管理費支出				
総会費支出	10,000	10,000	0	会場使用料
理事会費支出	30,000	30,000	0	会場使用料
特別会議費支出	30,000	30,000	0	役員会議他
通信費支出	350,000	350,000	0	葉書電話郵送料
什器備品費支出	380,000	380,000	0	コピー使用料他
消耗費支出	250,000	250,000	0	JC手帳・事務用品
給与手当支出	1,080,000	1,080,000	0	人件費
賃借料支出	760,000	760,000	0	事務局賃借料・コピー機リース代
交際費支出	50,000	50,000	0	広告名刺代
修繕費支出	20,000	20,000	0	
保険料支出	10,000	10,000	0	労働保険料
雑費支出	30,000	30,000	0	支払手数料
渉外費支出	210,000	210,000	0	出向会議費・登録料
慶弔費支出	150,000	150,000	0	冠婚葬祭費
旅費交通費支出	5,000	5,000	0	大会用旅費
諸会費支出	50,000	50,000	0	公的機関年会費
管理費支出計	【 3,415,000 】	【 3,415,000 】	【 0 】	
③負担金支出				
JCI負担金	78,055	78,055	0	1,165円×67名

日本JC負担金	365,000	365,000	0	5,000円×67名+30,000円
関東地区協負担金	43,500	43,500	0	500円×67名+10,000円
埼玉ブロック負担金	422,000	422,000	0	6,000円×67名+20,000円
国際協力基金	122,275	122,275	0	1,825円×67名
日本JC出向者負担金	100,000	100,000	0	20,000円×5名
We Believe 購読料	201,000	201,000	0	3,000円×67名
負担金支出計	【 1,331,830 】	【 1,331,830 】	【 0 】	
④ 預かり金支出	【 336,000 】	【 339,000 】	【 ▲ 3,000 】	日本JC登録料他
⑤ 他会計への繰入金支出				
事業安定化会計繰入支出	108,170	130,000	▲ 21,830	
公益事業緊急対策会計繰入支出	0	0	0	
周年事業積立会計繰入支出	0	300,000	▲ 300,000	
退職積立預金繰入支出	102,000	102,000	0	
他会計への繰入金支出計	【 210,170 】	【 532,000 】	【 ▲ 321,830 】	
事業活動支出計 (B)	9,985,000	9,973,000	12,000	【 】の合計
事業活動収支差額 (A-B)	[0]	[0]	[0]	
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	[0]	[0]	[0]	
III. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	[0]	[0]	[0]	
IV. 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	[]の合計-予備費

事業安定化会計第2次収支計算書(案)

公益社団法人 草加青年会議所 2017年度

自 2017年 1月 1日

至 2017年 12月31日

(単位:円)

科 目	2017年度第2次補正予算	2017年度補正予算	増減	摘要
I . 事業活動収支の部				
1 . 事業活動収入				
⑥ 雑収益				
受取利息	500	500	0	
⑦ 他会計からの繰入金				
一般会計繰入収入	108,170	130,000	▲ 21,830	
事業活動収入計 (A)	108,670	130,500	▲ 21,830	
2 . 事業活動支出				
⑤ 他会計への繰入金支出				
一般会計繰入支出	900,000	900,000	0	
事業活動支出計 (B)	900,000	900,000	0	
事業活動収支差額 (A-B)	▲ 791,330	▲ 769,500	▲ 21,830	
II . 投資活動収支の部				
1 . 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2 . 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III . 財務活動収支の部				
1 . 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 . 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	▲ 791,330	▲ 769,500	▲ 21,830	

公益事業緊急対策会計第2次収支計算書(案)

公益社団法人 草加青年会議所 2017年度

自 2017年 1月 1日

至 2017年 12月31日

(単位:円)

科 目	2017年度第2次補正予算	2017年度補正予算	増減	摘要
I . 事業活動収支の部				
1 . 事業活動収入				
⑥ 雑収益				
受取利息	1,000	1,000	0	
⑦ 他会計からの繰入金				
一般会計繰入収入	0	0	0	
事業活動収入計 (A)	1,000	1,000	0	
2 . 事業活動支出				
② 管理費支出				
雑費支出	0	0	0	
⑤ 他会計への繰入金支出				
一般会計繰入支出	500,000	0	500,000	
事業活動支出計 (B)	500,000	0	500,000	
事業活動収支差額 (A-B)	▲ 499,000	1,000	500,000	
II . 投資活動収支の部				
1 . 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2 . 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III . 財務活動収支の部				
1 . 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 . 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	▲ 499,000	1,000	500,000	

周年事業積立会計第2次収支計算書(案)

公益社団法人 草加青年会議所 2017年度

自 2017年 1月 1日

至 2017年 12月31日

(単位:円)

科 目	2017年度第2次補正予算	2017年度補正予算	増減	摘要
I . 事業活動収支の部				
1 . 事業活動収入				
⑥ 雑収益				
受取利息	500	500	0	
⑦ 他会計からの繰入金				
一般会計繰入収入	0	300,000	▲ 300,000	
事業活動収入計 (A)	500	300,500	▲ 300,000	
2 . 事業活動支出				
⑤ 他会計への繰入金支出				
一般会計繰入支出	0	0	0	
事業活動支出計 (B)	0	0	0	
事業活動収支差額 (A-B)	500	300,500	▲ 300,000	
II . 投資活動収支の部				
1 . 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2 . 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III . 財務活動収支の部				
1 . 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 . 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	500	300,500	▲ 300,000	

退職金積立会計第2次収支計算書(案)

公益社団法人 草加青年会議所 2017年度

自 2017年 1月 1日
至 2017年 12月31日

(単位:円)

科 目	2017年度第2次補正予算	2017年度補正予算	増減	摘要
I . 事業活動収支の部				
1 . 事業活動収入				
⑥ 雑収益				
受取利息	500	500	0	
⑦ 他会計からの繰入金				
一般会計繰入収入	102,000	102,000	0	
事業活動収入計 (A)	102,500	102,500	0	
2 . 事業活動支出				
⑤ 他会計への繰入金支出				
一般会計繰入支出	0	0	0	
事業活動支出計 (B)	0	0	0	
事業活動収支差額 (A-B)	102,500	102,500	0	
II . 投資活動収支の部				
1 . 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2 . 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III . 財務活動収支の部				
1 . 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 . 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	102,500	102,500	0	

収支計算書総括表(案)

公益社団法人 草加青年会議所 2017年度

自 2017年 1月 1日

至 2017年 12月31日

(単位:円)

科 目	一般会計	事業安定化 会計	公益事業緊急 対策会計	周年事業積立 会計	退職金積立 会計	合計
I . 事業活動収支の部						
1 . 事業活動収入						
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0
① 入会金収入	400,000	0	0	0	0	400,000
② 会費収入	7,412,000	0	0	0	0	7,412,000
③ 事業会計収入	36,000	0	0	0	0	36,000
④ 預かり金収入	336,000	0	0	0	0	336,000
⑤ 寄付金収入	360,000	0	0	0	0	360,000
⑥ 雑収益	41,000	500	1,000	500	500	43,500
⑦ 他会計からの繰入金収入	1,400,000	108,170	0	0	102,000	1,610,170
事業活動収入計 (A)	9,985,000	108,670	1,000	500	102,500	10,197,670
2 . 事業活動支出						
① 事業費支出						
会員拡大委員会	660,000	0	0	0	0	660,000
会員研修委員会	150,000	0	0	0	0	150,000
青少年・国際交流委員会	840,000	0	0	0	0	840,000
地域開発委員会	1,360,000	0	0	0	0	1,360,000
総務グループ	900,000	0	0	0	0	900,000
選挙管理委員会	32,000	0	0	0	0	32,000
特別事業支出	750,000	0	0	0	0	750,000
事業会計支出	0	0	0	0	0	0
② 管理費支出	3,415,000	0	0	0	0	3,415,000
③ 負担金支出	1,331,830	0	0	0	0	1,331,830
④ 預かり金支出	336,000	0	0	0	0	336,000
⑤ 他会計への繰入金支出	210,170	900,000	500,000	0	0	1,610,170
事業活動支出計 (B)	9,985,000	900,000	500,000	0	0	11,385,000
事業活動収支差額 (A-B)	0	▲ 791,330	▲ 499,000	500	102,500	▲ 1,187,330
II . 投資活動収支の部						
1 . 投資活動収入						
投資活動収入計	0	0	0	0	0	0
2 . 投資活動支出						
投資活動支出計	0	0	0	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	0
III . 財務活動収支の部						
1 . 財務活動収入						
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0
2 . 財務活動支出						
財務活動支出計	0	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0
IV . 予備費支出	0	0	0	0	0	0
当期収支差額	0	▲ 791,330	▲ 499,000	500	102,500	▲ 1,187,330

正味財産増減計算書総括表(案)

公益社団法人 草加青年会議所 2017年度

自 2017年 1月 1日
至 2017年 12月31日

(単位:円)

科 目	一般会計	事業安定化会計	公益事業緊急 対策会計	周年事業積立 会計	退職金積立 会計	合計
I. 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0
② 受取入会金						
受取入会金	400,000	0	0	0	0	400,000
③ 受取会費						
正会員会費	5,320,000	0	0	0	0	5,320,000
新入会員会費	700,000	0	0	0	0	700,000
特別会員会費	1,368,000	0	0	0	0	1,368,000
賛助会員会費	24,000	0	0	0	0	24,000
④ 事業会計						
登録料	0	0	0	0	0	0
広告料収益	36,000	0	0	0	0	36,000
⑤ 預かり金						
預かり金	336,000	0	0	0	0	336,000
⑥ 受取寄付金						
受取寄付金	360,000	0	0	0	0	360,000
⑦ 雑収益						
受取利息収益	1,000	500	1,000	500	500	3,500
その他雑収益	40,000	0	0	0	0	40,000
⑧ 他会計からの繰入金						
一般会計からの繰入	0	108,170	0	0	102,000	210,170
事業安定化会計繰入収入	900,000	0	0	0	0	900,000
公益事業緊急対策会計繰入収入	500,000	0	0	0	0	500,000
周年事業積立会計繰入収入	0	0	0	0	0	0
退職金積立会計繰入収入	0	0	0	0	0	0
経常収益計	9,985,000	108,670	1,000	500	102,500	10,197,670
(2) 経常費用						
① 事業費						
事業費	4,692,000	0	0	0	0	4,692,000
② 管理費						
総会費支出	10,000	0	0	0	0	10,000
理事会費	30,000	0	0	0	0	30,000
特別会議費	30,000	0	0	0	0	30,000
通信費	350,000	0	0	0	0	350,000
什器備品費	380,000	0	0	0	0	380,000
消耗費	250,000	0	0	0	0	250,000
事務委託費	1,080,000	0	0	0	0	1,080,000
賃借料	760,000	0	0	0	0	760,000
交際費	50,000	0	0	0	0	50,000
修繕費	20,000	0	0	0	0	20,000
保険料	10,000	0	0	0	0	10,000
雑費	30,000	0	0	0	0	30,000
渉外費	210,000	0	0	0	0	210,000
慶弔費	150,000	0	0	0	0	150,000
旅費交通費	5,000	0	0	0	0	5,000
諸会費	50,000	0	0	0	0	50,000

③ 負担金						
JCI負担金	78,055	0	0	0	0	78,055
日本JC負担金	365,000	0	0	0	0	365,000
関東地区協負担金	43,500	0	0	0	0	43,500
埼玉プロ負担金	422,000	0	0	0	0	422,000
国際協力資金	122,275	0	0	0	0	122,275
日本JC出向者負担金	100,000	0	0	0	0	100,000
We Believe購読料	201,000	0	0	0	0	201,000
④ 預かり金	336,000	0	0	0	0	336,000
⑤ 他会計への繰入金						
一般会計への繰入	0	900,000	500,000	0	0	1,400,000
事業安定化会計繰入支出	108,170	0	0	0	0	108,170
公益事業緊急対策会計繰入支出	0	0	0	0	0	0
周年事業積立会計繰入支出	0	0	0	0	0	0
退職積立預金繰入支出	102,000	0	0	0	0	102,000
経常費用計	9,985,000	900,000	500,000	0	0	11,385,000
当期経常増減額	0	▲ 791,330	▲ 499,000	500	102,500	▲ 1,187,330
2 . 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	▲ 791,330	▲ 499,000	500	102,500	▲ 1,187,330
一般正味財産期首残高	500,000	938,024	4,399,607	2,526,486	1,722,690	10,086,807
一般正味財産期末残高	500,000	146,694	3,900,607	2,526,986	1,825,190	8,899,477
II . 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0
III . 正味財産期末残高	500,000	146,694	3,900,607	2,526,986	1,825,190	8,899,477

第 2 号 議 案 資 料

2018年度事業方針並びに事業計画（案）承認に関する件

『徳』～心豊かな地域の創造～

失われた20年を経て、今なお国難を極める日本。少子高齢化により人口減少や核家族化が進行、また、終身雇用や年金制度は崩壊し、経済的不安に苛まれている中で起きる数々の異常気象や天災、そして世界各地で続く紛争も今や他人事ではありません。これらが、一昔前の安定や安心という土台を揺るがし、人々は自らの安寧のためライフスタイルに選択肢を設け、取捨選択を始めたのではないのでしょうか。そして、情報化社会のあおりを受け、多くの情報を自ら選択する自由を与えられた人々は価値観が多様化し、プライバシー意識の高まりと共に地域社会とのつながりが希薄化し、地域への無関心の風潮や空気、雰囲気といったものが地域の活力低下に更に拍車をかけているように見受けられます。地域社会は人で構成されており、地域に活力を与えるのはそこに暮らす市民に他なりません。私達の暮らすこの草加は、首都東京に隣接しベットタウンと称されると共に、転入者・転出者が共に一万人を超え、地縁血縁型社会は崩壊しつつあり、地域の人々が様々な安心や安全の拠り所として地域に寄り添い、活力をもたらすためには、市民の新たな結び付きが求められていると考えます。私達は青年としての英知と勇気と情熱とスピード感を持って、次々と新しい仕組みをつくり上げて行かなければなりません。それは受け継がれた伝統を壊してしまうということでは無く、また、全く新しい何かを見出すということでもありません。既存の要素を組み合わせると、そこに大きな付加価値が生まれるという価値観を持って、創意工夫を凝らし果敢に挑戦し続けることで、人々の心に感動や喜びを創出するという事です。

今から69年前、日本の青年会議所運動は、戦後の荒廃した日本の再生を使命として、1949年9月、東京に端を発しました。そして、私達の所属する草加青年会議所は1968年9月15日、全国395番目の青年会議所として発足し、本年50年という節目の年を迎えます。草加青年会議所は、「市民の声なき声を聴こう」という何時も揺るぎ無い精神の下、「明るい豊かな社会」の実現を目指すと共に、その運動を通して、自分たち自身が信頼される市民、信頼される社会人となるべく、自らを厳しく律することで成長してきました。こうして連綿と紡がれてきたその歴史は、今の私達に実績と信頼という背負うべき責務と進むべき道筋を与えてくれています。物事を発展させる気概を得た時、先ずはその歴史や経緯、由来を知ることが大切です。今一度、歴史を振り返ることで己を知り、これまで先輩方が築き上げてきた土台を守り更に発展させ、次の50年、100年へと続く、市民から信頼され必要とされる青年会議所となることが、節目の年を任された私達の

使命です。そして、その使命達成の為に、これから私達の成すべき事は、地域が抱える問題や理想の姿を調査・研究し、持続可能な仕組みづくりを提案し続けて行くことです。多くの場合、人は示されるまで自分が何を望んでいるのか気付いていません。言わば全てがコロンブスの卵です。謙虚な姿勢で、素直に物事を見定める確かな目を持って、物事の核に迫って行きます。

今、世の中の変化は早く、我々の目指す「明るい豊かな社会」の持続可能な仕組みづくりに対する運動は、今まで以上に迅速かつ的確であることが求められます。素早く的確に行動し、「良くなってきているという空気を創り出す」、明るい豊かな社会を実現する仕組み作りとは、この事と考えます。強い意志を持ち、若さと情熱によって、着実な一歩を繰り返して行きます。それが如何に異端であっても、逆にどれだけ平凡であっても、良い変化を人は工夫と呼び、この素早い工夫の積み重ねが時代に沿って伝播された時、それは革新となるのです。そしてまた、その行動こそが市民や地域諸団体から更に必要とされ、信頼関係をより強固にしていくものと確信しております。縦割り社会の弊害が指摘される昨今、市民団体同士が横の繋がりを持たずして未来などありません。互いに信頼し手を取り合って、良い影響を与え合い、地域社会の発展へと進んで参ります。

青年会議所は世界の恒久平和を願い、その目的達成のために、「明るい豊かなまちづくり」の精神と運動を、地域から国へ、国から世界へと伝播している組織です。そして私達は、その運動の過程で己の直観と良識を信じ、広く地域に影響を及ぼせるよう果敢に挑戦し続けることで、地域や仲間からの期待と信頼を積み重ねています。それは言い換えれば、「徳」を積んでいるということです。そして裏を返せば「徳」とは、他との関わり無くして積むことの出来ない力であり、信頼に裏付けされた価値なのです。私達は培った徳という力を後ろ盾に自信と誇りを持ち、地域に豊かな心を創造して行きます。豊かな心とは、前向きな心、自分を大事にすると同時に、他人を思いやる心です。人と人が思いやりを持って触れ合い、互いに感動を与えることで、心豊かな地域となるのです。

◆ 2018年度基本方針

- ・ 50年の歴史と功績に敬意と感謝の意を表します。
- ・ 徳を積み、誇りをもって地域に広く影響を及ぼします。
- ・ スピード感ある行動で、創意工夫の限りを尽くします。
- ・ 謙虚な姿勢で素直に物事を見定め、市民の声なき声に迫ります。
- ・ 人々に感動と喜びを創出し、心豊かな地域を創造します。

◆ 2018年度事業方針

開発室 会員開発委員会

ここ数年の当青年会議所の会員拡大状況は、毎年10名以上の拡大を成し遂げ、一時40名程度まで減少した会員も微増を重ね60名程度まで回復しています。私達はこの上昇傾向を止めることなく継続させ、毎年15名以上の会員拡大を成し、5年後に会員数100名の会を目指します。また、出席率の向上に注力し、次の50年へと繋がる盤石な体制を整えて参ります。

会員開発とは、メンバーが公益社団法人草加青年会議所の会員として自分の確固たる意志を持ち、秩序と調和の中で自己成長を自覚するという意味の開発、及び、新たな刺激を求め同志を発掘するという意味の開発です。同志の増加は機会の増加であり、機会の増加は「気づき」の増加となり、「気づき」によりメンバーは自己成長の幅が広がり、お互いを感化し合える同志の存在が運動の原動力となります。同志に与えられた「気づき」から「当たり前」の難しさを知り、共に感化し合える仲間との出会いに喜びを感じながら同志を募り、良識と品格ある大人・信頼厚き JAYCEE・尊敬される青年経済人としての研鑽を図るべく研修事業を開催すると共に、メンバー間の親睦を深めることで、責任の自覚と同志の信頼に裏付けされた徳の修養に努めて参ります。

JCには「奉仕」「修練」「友情」という三信条があります。

「奉仕」という大義に共に立ち向かい、

最大限の効果を導いてくれるのが「友情」と信頼です。

信頼には責任が生じます。生じた責任は「修練」となります。

そして、修練を共に乗り越えてくれるのもまた「友情」です。

「修練」が更に「友情」を強固にし、そしてその時「奉仕」は最大限の効果を発揮できるのです。

開発室 青少年開発委員会

今年で終わりを迎えるこの平成期、目覚ましい技術躍進によって私達の生活は画期的に進歩しました。快適な生活の追及は人類の果てない夢であります。ある程度の快適を知っている現代、果たして子ども達はどのような夢を抱いているのでしょうか。SF映画のような世界を目前に控え、夢の実現性が実感出来てしまう昨今、子ども達にとって夢は誰かが実現してくれるものと捉えられているのではないのでしょうか。その昔、ドクター中松は、母親が一升瓶に入った醤油を醤油差しに移し替える度にこぼして苦勞している姿を見て、現在の灯油ポンプを発明しました。また、ノーベルは、山岳地帯の岩壁にトンネルを掘るためにダイナマイトを発明しました。このように、今ある多くの発明は、困っている誰かの為に、世の為人の為に発明された物ばかりです。これは、現代の発明や進歩を否定しているわけではありません。未来を担う子ども達に、困っている誰かの為に何かを生み出したいという、強

い想いを抱いて貰いたいのです。子ども達が自分の将来や夢を想い描けるきっかけとなり、ひらめきを与え、持続可能な興味を抱けるよう、そして、それが人々に感動を与えられるひらめきであることを期待して最高の機会を提供して行きます。そして、その感動の享受によって、子ども達は自信と誇りと喜びを覚え、思いやりのある豊かな心が育まれるのです。

交流室 地域交流委員会

私達の暮らすこの草加は、首都東京に隣接しベットタウンと称されると共に、転入者・転出者が共に一万人を超え、地縁血縁型社会は崩壊しつつあり、プライバシー意識の高まりも相俟って、地域社会との繋がりが更に希薄化している様に見受けられます。地域社会は人で構成されており、地域に活力を与えるのはそこに暮らす市民に他なりません。今、地域の人々が様々な安心や安全の拠り所として地域に寄り添い、活力をもたらすためには、市民の新たな結び付きが求められていると考えます。今、私達は地域の青年として責任を自覚し、新たな切り口で、スピード感を持って挑戦し、次々と新しい仕組みをつくり上げて行かなければなりません。それは受け継がれた伝統を壊してしまうということでは無く、また、全く新しい何かを見出すということでもありません。既存の要素を組み合わせると、そこに大きな付加価値が生まれるという価値観を持って、創意工夫を凝らし果敢に挑戦し続けることで、人々の心に感動や喜びを創出したいのです。この地域にも多くの市民団体があり、地域の為に多くの取り組みを行っています。そして、私達には先輩方が永年に亘り築かれてきた地域の方々との信頼関係があります。地域の諸団体と連携を密に、地域に変革を求める先導者としてスピード感を持って行動し、社会実験と調査研究を重ねた上で、それを根拠に事業構築を行い、効果を最大限引き出したまま地域に定着するよう運動展開を行うことで、心豊かな地域を創造して参ります。

周年戦略企画室

本年度、当青年会議所は創立50周年という節目の年を迎えます。この50年という歴史の中には様々な人の想いが詰まっています。我々はこの草加青年会議所の歴史を作り上げてきた先輩方が、どのような想いで活動・運動を行ってきたのかを改めて認識し、今後も私達が地域に必要とされる組織であり続ける為に、よりよい青年会議所運動を展開すると共に、その強い意志を次の50年まで受け継いで行く必要があります。我々が半世紀に亘り活動し続けられるのは、多くの先輩方が熱い想いと覚悟を持ち、まちづくりのために取り組んでこられた運動の成果の積み重ねと、永年に亘り築かれてきた地域の方々との信頼関係が保たれているからです。50周年戦略企画室では、メンバーが一丸となって50周年事業に取り組めるよう、まずは受け継がれた精神と歴史を学ぶと同時に、情報の共有を徹底し、周年に対する意識の統一を図ります。そして、諸先輩方や地域の皆様に感謝の意を表すと共に、今後の更なるご理解と連携に繋ぐことの出来るよう機会を創出し、時代に即した新たな事業を展開することで次代へと繋げられるよう積極的に運動展開を行って参ります。

総務広報グループ

本年度、当青年会議所は創立50周年という節目の年を迎えます。周年戦略企画室及び専務理事との連携を密に、タイムリーかつ滞りの無い連絡調整及び情報の提供を行います。また、周年式典特別会議のホームページ作成に協力し、管理・掲載を共同で行うことで掲載内容や管理方法等を含めホームページの刷新を図ります。そして、総会など各種諸会議の設営や正確な議事録作成、監督官庁・関係諸団体との連絡調整、適正な会計処理等、会の基盤となる運営を行います。また、各委員会と密に連携を図り、事業の運営補助と記録を的確に行いながら、ホームページ・SNSを活用し、正確な情報を公開致します。

◆2018度 委員会事業計画

<開発室 会員開発委員会>

正会員15名の拡大
例会平均出席率90%の達成
賛助会員の拡大
例会・事業の企画運営
オープン委員会の企画運営
3分間スピーチの企画運営
会員親睦事業の企画運営
卒業式の企画運営
わんぱく相撲の企画運営
50周年実行委員会への参加協力
日本J.C、関東地区、埼玉ブロックとの連携
関係諸団体との連携
周年式典特別会議との協力
各委員会との連携
草加市制60周年関連事業等への参加協力

<開発室 青少年開発委員会>

例会・事業の企画運営
オープン委員会の企画運営
青少年健全育成事業の企画運営
春の子どもフェスタの企画運営
50周年実行委員会への参加協力
日本J.C、関東地区、埼玉ブロックとの連携

関係諸団体との連携

ユースサミット事業の企画運営

各委員会との連携

草加市制60周年関連事業等への参加協力

会員拡大2名の支援

例会平均出席率90%への協力

<交流室 地域交流委員会>

例会・事業の企画運営

オープン委員会の企画運営

草加松原夢祭りへの参加協力

50周年実行委員会への参加協力

日本J C、関東地区、埼玉ブロックとの連携

関係諸団体との連携

各委員会との連携

草加市制60周年関連事業等への参加協力

会員拡大2名の支援

例会平均出席率90%への協力

<周年戦略企画室 周年式典特別会議>

例会の企画運営

HPの作成・管理・掲載

オープン会議の企画運営

周年記念特別会議との協力

総務広報グループとの協力

日本J C、関東地区、埼玉ブロックとの連携

創立50周年記念式典の企画運営

創立50周年記念誌の発行

創立50周年未来ビジョンの作成

各委員会との連携

草加市制60周年関連事業等への参加協力

会員拡大2名の支援

例会平均出席率90%への協力

<周年戦略企画室 周年記念特別会議>

例会の企画運営

オープン会議の企画運営

周年式典特別会議との協力

総務広報グループとの協力

日本J C、関東地区、埼玉ブロックとの連携

創立50周年記念事業の企画運営

創立50周年未来ビジョンの作成

各委員会との連携

草加市制60周年関連事業等への参加協力

会員拡大2名の支援

例会平均出席率90%への協力

<総務広報グループ>

例会・事業の企画運営

関係官庁への書類提出・連絡調整窓口

各諸会議議事録・報告書等の文章作成

専務理事との連携・補佐

財務管理

HPの管理・掲載

HP作成への協力

定款・諸規定の見直し

開発の発行

50周年実行委員会への参加協力

日本J C、関東地区、埼玉ブロックとの連携

関係諸団体との連携

各委員会との連携

草加市制60周年関連事業等への参加協力

会員拡大2名の支援

例会平均出席率90%への協力

ポケットブックの作成

<50周年実行委員会>

月1回の50周年実行委員会の開催

50周年LOM全体会議の開催

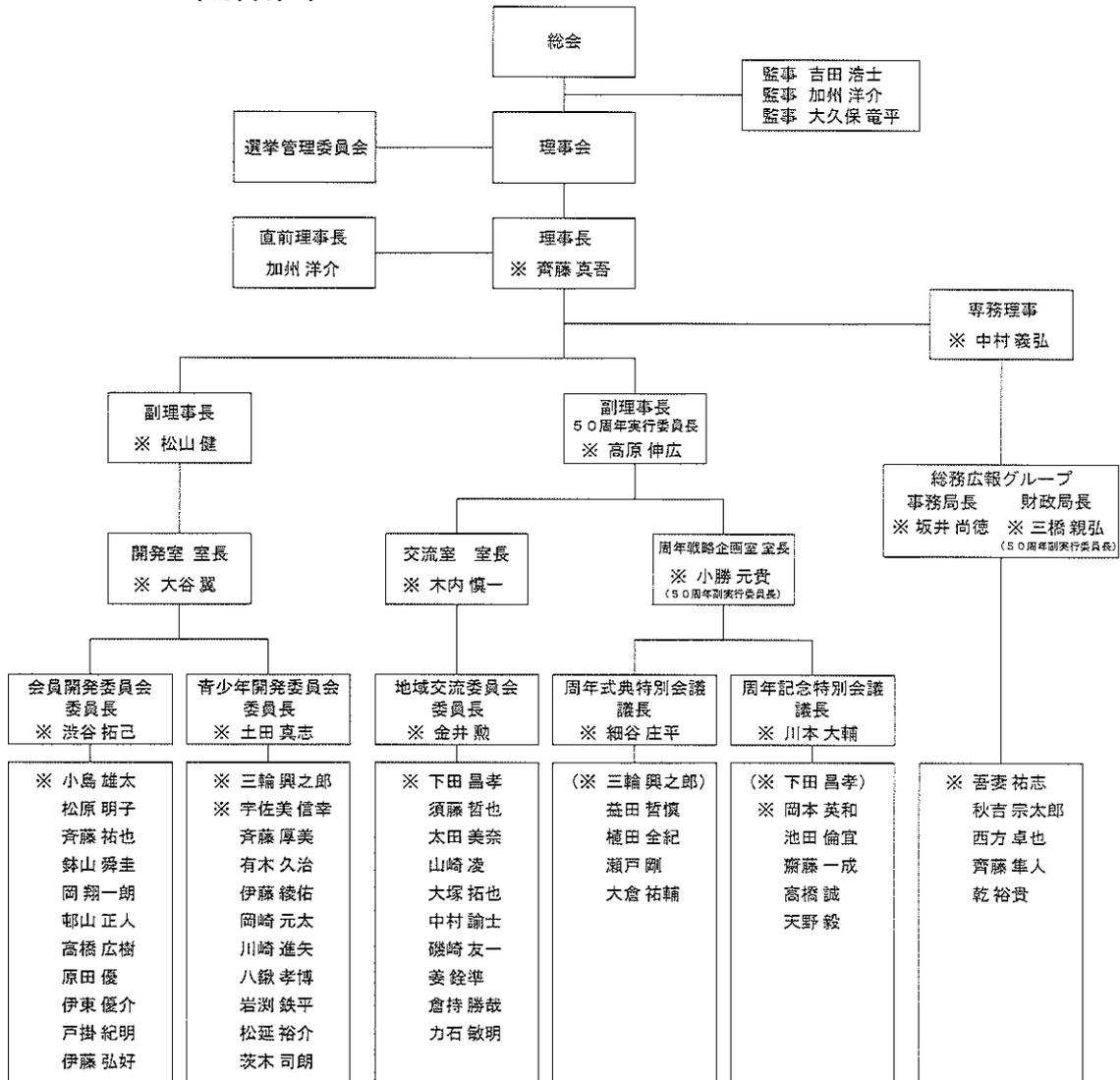
周年戦略企画室への事業付託及び総括

◆ 2018年度 役員（案）

第1項	理事長	齊藤 真吾
第2項	専務理事	中村 義弘
第3項	外部監事	吉田 浩士
第4項	監事	加州 洋介
第5項	監事	大久保 竜平
第6項	副理事長	高原 伸広
第7項	副理事長	松山 健
第8項		坂井 尚徳
第9項		土田 真志
第10項		下田 昌孝
第11項		小勝 元貴
第12項		大谷 翼
第13項		細谷 庄平
第14項		三輪 興之郎
第15項		三橋 親弘
第16項		吾妻 祐志
第17項		宇佐美 信幸
第18項		木内 慎一
第19項		金井 勲
第20項		川本 大輔
第21項		渋谷 拓己
第22項		岡本 英和
第23項		小島 雄太

組織図

■理事総数20名（理事は※にて表記）



(※) は他委員会より出向の特任理事

2018年度 出向者 (案)

◆公益社団法人 日本青年会議所

国際グループ UN 関係会議

委員 太田 美奈

委員 宇佐美 信幸

日本アカデミー委員会

委員 松原 明子

◆埼玉ブロック協議会

つながる埼玉創造委員会

副委員長 小島 雄太

小幹事 吾妻 祐志

委員 下田 昌孝

委員 姜 銓準

アカデミー拡大委員会

委員 中村 諭史

委員 西方 卓也

◆公的機関 出向者

草加市都市計画審議会

小勝 元貴

草加市下水道事業運営審議会

中村 義弘

草加市青少年健全育成市民会議

理事 松山 健
青少年育成委員会 土田 真志
国際交流協会 宇佐美 信幸
家庭教育委員会 大谷 翼

公益財団法人草加市文化協会

評議員 松山 健

草加市社会福祉事業団

評議員 加州 洋介

社会福祉法人草加市社会福祉協議会

評議員 高原 伸広

草加市交通安全対策協議会

齊藤 真吾

草加市暴力排除推進協議会

齊藤 真吾

草加市特別報酬等審議会

中村 義弘

草加市観光協会

川本 大輔

草加市国民健康保険運営協議会

金井 勲

今様草加宿市民推進会議

加州 洋介

草加市次世代育成支援対策地域協議会

三橋 親弘

草加市立中学校社会体験事業推進会議

松山 健

草加市環境推進協議会

細谷 庄平

平成 30 年度草加市環境フェア実行委員会

木内 慎一

平成 30 年度草加市クリーンふるさと推進協議会

細谷 庄平

草加市社会資本整備総合交付金評価委員会

高原 伸広

草加市公共事業評価監視委員会

高原 伸広

草加松原太鼓橋ロードレース大会実行委員会

加州 洋介

草加市ふささら祭り実行委員会

委員 大谷 翼
委員 土田 真志

草加市「道の駅」建設推進協議会

坂井 尚徳
渋谷 拓己

特定非営利活動法人みんなのまち草の根ネットの会

小勝 元貴

草加市国際交流協会

理事 宇佐美 信幸

◆2018年度 同好会

じゃがいも

キャプテン 小島 雄太

野球(チェンバーズ)

GM 三橋 親弘

中国語

キャプテン 坂井 尚徳

サッカー (グッドフェローズ)

キャプテン 吾妻 祐志

アウトドア&ムシとり班

班長 高橋 誠

カラオケ

会長 高橋 誠

ダーツ

主将 吾妻 祐志

ボウリング

キャプテン 小勝 元貴

2018年度 会員開発委員会

委員長 渋谷 拓己

人は一人では限られた力しか発揮できず、各々の限界というものに壁を感じてしまいます。一つ一つの力が集い、助け合い協力し合えた時にその力は無限大の可能性を秘めた力に変化していきます。すまわち、同じ目標の元に一つになり「一体感」をもち行動することが目標達成の土台であると考えております。

2018年度、会員開発委員会の委員長を務めさせていただきます渋谷拓己です。

今年度はこの「一体感」をスローガンに当委員会メンバー全体が、お互いをより信頼しあい、チームワークを大事にし、友情溢れる委員会造りに努めてまいります。

私は「縁」というものを一番大切に思っており、人の一生の中での数々の分岐点を左右する最大の要素と考えております。「縁」とは、めぐり合わせであり、本年度、会員開発委員会に集まったメンバーも「縁」であり、又、これから活動を共にしていくメンバーとの出会いも必然の「縁」であります。

それを各々がどう感じ取れるかですが、全ては一つも無駄などなく体験や経験として個々のプラスに蓄積されてゆくものとなります。

それを念頭により多くの交流の機会の提供を模索し数多くの人間と関わり合い、同士を募っていく所存です。

理事長から付託されております会員拡大数は15名です。又、例年課題になっております出席率につきましても90%以上が求められており、その達成の為には、プログラム研修も然ることながら、メンバー一人一人の役割を明確にし、修練を積み、個々の意識の向上を図り、責任を感じて活動を行う事が最重要だと認識しております。

J Cとは、社会的に完成された経営者や生活に余裕のある人間のみが集い活動するものではなく、発展途上の志ある若者が青年会議所活動を通じて成長できる、これこそが本質であります。メンバー同士が信頼しあい、幅広い分野の仲間とふれあい価値観を共有し、友情をより強固なものへと育みながら1年間活動してまいります。

近い未来の草加青年会議所の為に大きな目標に向かい突き進んでいきます。

<事業計画>

正会員15名の拡大

例会・事業の企画運営

オープン委員会の企画運営

各種セミナー・プログラム研修の企画運営

親睦事業の企画運営

卒業式の企画運営

わんぱく相撲の企画運営

50周年実行委員会への参加協力

関係諸団体との連携

各委員会との連携

日本J C、関東地区、埼玉ブロックとの連携

2018年度 青少年開発委員会

委員長 土田 真志

今年度、青少年開発委員会委員長を仰せつかまりました。土田真志です。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

我が国では少子高齢化、SNSなど情報化の進展、人間関係の希薄化などの課題が発生しています。これらの問題を解決していくのに必要不可欠なのは現在の子ども達だと思います。未来を担う子ども達の為に、青少年開発委員会では、『ONE FOR ALL～1人はみんなのために～』をテーマに1年間活動し、子ども達1人1人が他人を思いやり、率先して行動出来るように豊かな心を育てていきます。2019年に、ラグビーワールドカップが初めて日本で開催され、埼玉県では熊谷市で試合が行われます。ラグビー用語で『1人はみんなのために、みんなは1つの目的のために』という言葉が使われます。1つのボールをみんなで協力し、前へ前へとボールを運んでいきます。時には立ち止まり、みんなで相談し、知恵を出し合い、1人1人のひらめきがトライに繋がります。青少年の育成にも同じような事が言えると思います。未来を担う子ども達の為に、家庭、学校、地域、行政がスクラムを組み、協働して行く事が重要だと考えます。すべては、子ども達の未来の為に。青少年の育成が、明るい豊かなまちづくりに繋がります。共に率先して行動して行きましょう。

<事業計画>

<開発室 青少年開発委員会>

- ・例会・事業の企画運営
- ・オープン委員会の企画運営
- ・青少年健全育成事業の企画運営
- ・春の子どもフェスタの企画運営
- ・50周年実行委員会への参加協力
- ・日本J C、関東地区、埼玉ブロックとの連携
- ・関係諸団体との連携
- ・各委員会との連携
- ・会員拡大2名の支援

2018年度 地域交流委員会 委員長所信

委員長 金井 勲

「市民の声なき声を聴こう」という創始の精神の基、草加青年会議所が設立され、半世紀を迎えます。

時代が移り変わる中で、さまざまな社会問題、地域問題に草加青年会議所は向き合ってきました。先輩諸兄姉の活躍や時代の発展もあり、現在は生活面に於いて何不自由無く暮らす事ができる時代です。

何不自由無く暮らせる事ができる時代になったのは素晴らしい事ですが、その反面不自由無く暮らせるからこそ、人とのコミュニケーションが希薄化し「自分さえよければ」「自分で何でもできてしまうから交流は不要」などの考えも生まれています。

コミュニケーションが希薄化している現代に何が必要なのか、それはまちに携わる人々の心の安心です。

コミュニケーションが希薄化する事により、繋がりが途絶え身の周りに起きている問題を見て見ぬふりをしてしまう、このままでは地域に携わる人々の安心で安全な心豊かなまちは望めません。地域交流委員会では、市民団体や各所団体と手を取り合い、過去の成功例などを調査し、共に草加市に携わる人々が安心安全なまちを目指し進めるよう、市民がどのような事をすれば当事者意識を深く持ってもらえるのか追及をしていき、市民団体や各所団体と地域に携わる人々が思いやりを持ち感動できるような仕組みを構築します。

結びになりますが、2018年度地域交流委員会では「追及心」をテーマに諦めず最後まで、地域に携わる人々の安心を求め邁進してまいります。

<事業計画>

例会・事業の企画運営

オープン委員会の企画運営

草加松原夢祭りへの参加協力

50周年実行委員会への参加協力

日本J C、関東地区、埼玉ブロックとの連携

関係諸団体との連携

各委員会との連携

会員拡大2名の支援

50年前。日本が高度成長期を向かえたその頃から産業化やマス・メディア等の急激な発展が起こり、人どうしの関わり合いは希薄化を始め、情報も 「人から人」 ではなく 「雑誌から人」 、「テレビから人」 、「インターネットから人」 へと伝達方法が変わってきました。

求めることや必要なものも時代の移り変わりに合わせて常に変化をし、人はそれに順応し行動をしてきました。今では多くの情報が簡単に入手できるようになり、望めば新しいものを容易に取り入れられるようになりました。

しかし、どんなに簡単に入手できる情報やものも、その背景にはそれを作り上げた方たちの想いや行動が確実に存在したことを忘れてはなりません。

2018年度、草加青年会議所は創立50周年を迎えます。

「古人の跡を求めず、古人の求めたるところを求めよ」(松尾芭蕉)

周年式典特別会議ではこの言葉をテーマに草加の町に貢献し続ける先輩諸兄姉の想いを学び、その想いを次代に紡いでいけるよう、変化に合わせた発信方法を追求し、実現させます。

誇れる周年式典を共につくりあげていきましょう。

<事業計画>

<周年戦略企画室 周年式典特別会議>

例会の企画運営

オープン会議の企画運営

周年式典特別会議との協力

総務広報グループとの協力

日本JC、関東地区、埼玉ブロックとの連携

創立50周年記念事業の企画運営

創立50周年未来ビジョンの作成

各委員会との連携

草加市制60周年関連事業等への参加協力

会員拡大2名の支援

例会平均出席率90%への協力

2018年度 周年記念特別会議

議長 川本 大輔

「果敢に何度も挑戦し、諦めないで継続する誰かのためにやる JC」

草加青年会議所は来年50周年という節目の年を迎えます。周年記念特別会議では、50年続いております「明るい豊かなまちづくり」運動を継承し、強い意志と感謝の意を表すと共に次の50年後の草加のまちを創造し、記念事業を開催します。

また、記念事業にはもう一つ周年記念ゴルフコンペを付託されています。ゴルフ部会と連携し50組のゴルフコンペを盛大に開催します。

誰よりも記念事業と向き合う所存でございますが、一人での成功は絶対にありえません。メンバーの皆様には多くのご支援ご協力をお願いする事になると思いますが、記念事業を通して行政、関係各所諸団体、青年会議所他 LOM メンバーや OB 諸兄弟、様々な方々と関係を築いていくことができます。

まちづくりはひとづくりとも言われますように、来年度、当会議体で培っていく経験やネットワークを自分の仕事や JC 活動以外でも実践できる議会運営を目指していきます。

自分は、草加で生まれ育ち、草加というまちが大好きです。青年会議所に入会してから今まで、自己成長や仕事の為、時間の空いた時など、自分中心の青年会議所活動をしてきましたが、これからは、地域のために汗をかき草加青年会議所の発展に全力で精進いたします。

<事業計画>

<周年戦略企画室 周年記念特別会議>

例会の企画運営

HPの作成・管理・掲載

オープン会議の企画運営

周年記念特別会議との協力

総務広報グループとの協力

日本JC、関東地区、埼玉ブロックとの連携

創立50周年記念式典の企画運営

創立50周年記念誌の発行

創立50周年未来ビジョンの作成

各委員会との連携

草加市制60周年関連事業等への参加協力

会員拡大2名の支援

例会平均出席率90%への協力

2018年度 総務広報グループ 事業方針

事務局長 坂井尚徳

2018年度、草加青年会議所は創立50周年という節目を迎えることとなります。この半世紀という長き期間にわたり、先輩方は時代のニーズを的確に捉え運動発信し、多くの事業をしてこられました。

2018年度も草加青年会議所では多くの事業が行われます。総務広報グループでは、メンバーの活動がより円滑に、より効果的に行われるよう総務広報グループ一丸となりサポートし、また更なる50年に向けて発展を遂げるための基盤作りをし、一年間活動していきます。

運動を実践していくメンバーつまりは仲間が新しいことへの挑戦や取り組みをしようとする時に、我々総務広報グループの磐石な運営があれば心強いものとなり、運動効果を最大限に発揮できる一助となります。

時代の流れに適した迅速な情報提供、安定的な会議運営、法令順守や内部規則の遵守の点でも確固たるチェック機能を担い、しっかりと遂行して参ります。

「Cool Head , but Warm Heart」 (冷静な頭脳・冷徹に考えることは必要とする一方、温かい心・熱い想いを持つ。)

冷静な頭脳だけでは、会の運営は完璧ではありません。メンバーの事を考え、どうすればよい環境で各委員会運営や理事会運営がスムーズに出来るのか、温かい心を持って総務運営をしていくことが大事であると考えます。それが結果「明るい豊かなまちづくり」になるのです。

「It is much more important how to be good rather than how to do good.」(何をすべきかより、どうあるべきか)を共に考えて、2018年度総務広報グループを運営していきます。

どうぞ、一年間よろしくお願ひします。

<事業計画>

例会・事業の企画運営	HP作成への協力
関係官庁への書類提出・連絡調整窓口	定款・諸規定の見直し
各諸会議議事録・報告書等の文章作成	開発の発行
専務理事との連携・補佐	日本J C、関東地区、埼玉ブロックとの連携
財務管理	関係諸団体との連携
HPの管理・掲載	

第 3 号 議 案 資 料

2018年度収支予算（案）承認に関する件

一般会計収支予算書

公益社団法人 草加青年会議所 2018年度

自 2018年 1月 1日
至 2018年 12月31日

(単位:円)

科 目	2018年度予算	2017年度予算	増減	摘要
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 入金収入				
入金収入	300,000	400,000	▲ 100,000	20,000円×15名
② 会費収入				
正会員会費	7,680,000	6,360,000	1,320,000	120,000円×64名
新入会員会費	600,000	1,200,000	▲ 600,000	40,000円×15名
特別会員会費	1,404,000	1,494,000	▲ 90,000	18,000円×78名
賛助会員会費	24,000	36,000	▲ 12,000	12,000円×2社
③ 事業会計収入				
登録料収入	0	0	0	
広告料収入	36,000	36,000	0	18,000円×2社
④ 預かり金収入				
預かり金収入	0	0	0	日本JC大会登録料他
⑤ 寄付金収入				
寄付金収入	1,460,000	360,000	1,100,000	
⑥ 雑収益				
受取利息収入	500	1,000	▲ 500	
その他雑収入	10,000	10,000	0	JCカード割戻金
⑦ 他会計からの繰入金収入				
事業安定化会計繰入収入	0	0	0	
周年事業積立会計繰入収入	2,000,000	0	2,000,000	
事業活動収入計 (A)	13,514,500	9,897,000	3,617,500	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
開発室				
会員開発委員会				
担当例会事業費	300,000	300,000	0	
オープン委員会事業費	30,000	50,000	▲ 20,000	
委員会運営費	30,000	30,000	0	
新入会員記念品費	120,000	130,000	▲ 10,000	8,000円×15名
わんぱく相撲運営費	150,000	150,000	0	
会員開発委員会支出計	630,000	660,000	▲ 30,000	旧会員拡大委員会
青少年開発委員会				
担当例会事業費	100,000	100,000	0	
企画事業費	680,000	680,000	0	春フェス・ユース等
オープン委員会事業費	30,000	30,000	0	
委員会運営費	30,000	30,000	0	
青少年開発委員会支出計	840,000	840,000	0	旧青少年・国際交流委員会
開発室支出計	(1,470,000)	(1,500,000)	(▲ 30,000)	
研修室				
会員研修委員会				
担当例会事業費	0	50,000	▲ 50,000	
オープン委員会事業費	0	80,000	▲ 80,000	
委員会運営費	0	30,000	▲ 30,000	
会員研修委員会支出計	0	160,000	▲ 160,000	
研修室支出計	(0)	(160,000)	(▲ 160,000)	
交流室				
地域交流委員会				
担当例会事業費	130,000	100,000	30,000	
企画事業費	1,200,000	1,200,000	0	

オープン委員会事業費	30,000	30,000	0	
委員会運営費	30,000	30,000	0	
地域交流委員会支出計	1,390,000	1,360,000	30,000	旧地域開発委員会
交流室支出計	(1,390,000)	(1,360,000)	(30,000)	
周年戦略企画室				
周年式典特別会議				
担当例会事業費	25,000	0	25,000	
企画事業費	20,000	0	20,000	
オープン委員会事業費	15,000	0	15,000	
委員会運営費	15,000	0	15,000	
周年式典特別会議支出計	75,000	0	75,000	
周年記念特別会議				
担当例会事業費	25,000	0	25,000	
企画事業費	50,000	0	50,000	
オープン委員会事業費	15,000	0	15,000	
委員会運営費	15,000	0	15,000	
周年記念特別会議支出計	105,000	0	105,000	
周年戦略企画室支出計	(180,000)	(0)	(180,000)	
事務局・財政局				
総務広報グループ				
担当例会事業費	80,000	80,000	0	
オープン委員会事業費	0	0	0	
委員会運営費	30,000	30,000	0	
総務関係費	400,000	400,000	0	ポケットブック作成費
報告書作成費	100,000	100,000	0	開発作成費
社団法人登録費	30,000	30,000	0	
記録費	10,000	10,000	0	
広報費	100,000	20,000	80,000	HP管理料
総務広報グループ支出計	750,000	670,000	80,000	
事務局・財政局支出計	(750,000)	(670,000)	(80,000)	
選挙管理委員会				
選挙管理委員会				
担当例会事業費	20,000	20,000	0	
オープン委員会事業費	10,000	10,000	0	
公聴会関係費	10,000	10,000	0	
委員会運営費	10,000	10,000	0	
選挙管理委員会支出計	(50,000)	(50,000)	(0)	
特別事業支出				
50周年特別会議費	0	50,000	▲ 50,000	
特別事業費	300,000	300,000	0	サッカー大会・大相撲・賀詞交歓会等
渉外事業費	520,790	722,535	▲ 201,745	周年事業登録料
特別事業支出計	(820,790)	(1,072,535)	(▲ 251,745)	
事業会計支出				
登録料支出	0	0	0	
委員会事業支出	0	0	0	
周年事業支出	3,100,000	0	3,100,000	
事業会計支出計	(3,100,000)	(0)	(3,100,000)	
事業費支出計	【 7,760,790 】	【 4,812,535 】	【 2,948,255 】	()の合計
②管理費支出				
理事会費支出	30,000	30,000	0	会場使用料
特別会議費支出	30,000	30,000	0	役員会議他
通信費支出	350,000	300,000	50,000	葉書電話郵送料
什器備品費支出	380,000	380,000	0	コピー使用料他
消耗費支出	250,000	200,000	50,000	JC手帳・事務用品
給与手当支出	1,080,000	1,080,000	0	人件費
賃借料支出	760,000	710,000	50,000	事務局賃借料・コピー機リース代
交際費支出	50,000	50,000	0	広告名刺代
修繕費支出	20,000	20,000	0	

保険料支出	20,000	20,000	0	労働保険料
雑費支出	30,000	30,000	0	支払手数料
渉外費支出	210,000	210,000	0	出向会議費・登録料
慶弔費支出	150,000	150,000	0	冠婚葬祭費
旅費交通費支出	5,000	5,000	0	大会用旅費
諸会費支出	60,000	90,000	▲ 30,000	公的機関年会費
管理費支出計	【 3,425,000 】	【 3,305,000 】	【 120,000 】	
③ 負担金支出				
J C I負担金	92,035	100,740	▲ 8,705	1,165円×79名
日本JC負担金	440,000	410,000	30,000	5,000円×79名+45,000円
関東地区協負担金	59,500	56,500	3,000	500円×79名+20,000円
埼玉ブロック負担金	494,000	458,000	36,000	6,000円×79名+20,000円
国際協力基金	144,175	133,225	10,950	1,825円×79名
日本JC出向者負担金	60,000	0	60,000	20,000円×3名
We Believe 購読料	237,000	219,000	18,000	3,000円×79名
負担金支出計	【 1,526,710 】	【 1,377,465 】	【 149,245 】	
④ 預かり金支出	【 0 】	【 0 】	【 0 】	
⑤ 他会計への繰入金支出				
周年事業積立会計繰入支出	300,000	300,000	0	
事業安定化会計繰入支出	400,000	0	400,000	
退職積立預金繰入支出	102,000	102,000	0	
他会計への繰入金支出計	【 802,000 】	【 402,000 】	【 400,000 】	
事業活動支出計 (B)	13,514,500	9,897,000	3,617,500	【 】の合計
事業活動収支差額 (A-B)	[0]	[0]	[0]	
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	[0]	[0]	[0]	
III. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	[0]	[0]	[0]	
IV. 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	[]の合計-予備費

100% 公益に使用

一部公益に使用

事業安定化会計収支予算書(案)

公益社団法人 草加青年会議所 2018年度

自 2018年 1月 1日

至 2018年 12月31日

(単位:円)

科 目	2018年度予算	2017年度予算	増減	摘要
I . 事業活動収支の部				
1 . 事業活動収入				
⑥ 雑収益				
受取利息	500	1,000	▲ 500	
⑦ 他会計からの繰入金				
一般会計繰入収入	400,000	0	400,000	
事業活動収入計 (A)	400,500	1,000	399,500	
2 . 事業活動支出				
⑤ 他会計への繰入金支出				
一般会計繰入支出	0	0	0	
事業活動支出計 (B)	0	0	0	
事業活動収支差額 (A-B)	400,500	1,000	399,500	
II . 投資活動収支の部				
1 . 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2 . 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III . 財務活動収支の部				
1 . 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 . 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	400,500	1,000	399,500	

公益事業緊急対策会計収支予算書(案)

公益社団法人 草加青年会議所 2018年度

自 2018年 1月 1日

至 2018年 12月31日

(単位:円)

科 目	2018年度予算	2017年度予算	増減	摘要
I . 事業活動収支の部				
1 . 事業活動収入				
⑥ 雑収益				
受取利息	500	1,000	▲ 500	
⑦ 他会計からの繰入金				
一般会計繰入収入	0	0	0	
事業活動収入計 (A)	500	1,000	▲ 500	
2 . 事業活動支出				
⑤ 他会計への繰入金支出				
一般会計繰入支出	0	0	0	
事業活動支出計 (B)	0	0	0	
事業活動収支差額 (A-B)	500	1,000	▲ 500	
II . 投資活動収支の部				
1 . 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2 . 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III . 財務活動収支の部				
1 . 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 . 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	500	1,000	▲ 500	

周年事業積立会計収支予算書(案)

公益社団法人 草加青年会議所 2018年度

自 2018年 1月 1日

至 2018年 12月31日

(単位:円)

科 目	2018年度予算	2017年度予算	増減	摘要
I . 事業活動収支の部				
1 . 事業活動収入				
⑥ 雑収益				
受取利息	500	500	0	
⑦ 他会計からの繰入金				
一般会計繰入収入	300,000	300,000	0	
事業活動収入計 (A)	300,500	300,500	0	
2 . 事業活動支出				
⑤ 他会計への繰入金支出				
一般会計繰入支出	2,000,000	0	2000000	
事業活動支出計 (B)	2,000,000	0	2000000	
事業活動収支差額 (A-B)	▲ 1,699,500	300,500	▲ 2000000	
II . 投資活動収支の部				
1 . 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2 . 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III . 財務活動収支の部				
1 . 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 . 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	▲ 1,699,500	300,500	▲ 2000000	

退職金積立会計収支予算書(案)

公益社団法人 草加青年会議所 2018年度

自 2018年 1月 1日

至 2018年 12月31日

(単位:円)

科 目	2018年度予算	2017年度予算	増減	摘要
I . 事業活動収支の部				
1 . 事業活動収入				
⑥ 雑収益				
受取利息	1,000	3,000	▲ 2,000	
⑦ 他会計からの繰入金				
一般会計繰入収入	102,000	102,000	0	
事業活動収入計 (A)	103,000	105,000	▲ 2,000	
2 . 事業活動支出				
⑤ 他会計への繰入金支出				
一般会計繰入支出	0	0	0	
事業活動支出計 (B)	0	0	0	
事業活動収支差額 (A-B)	103,000	105,000	▲ 2,000	
II . 投資活動収支の部				
1 . 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2 . 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III . 財務活動収支の部				
1 . 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 . 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	103,000	105,000	▲ 2,000	

法人名	公益社団法人 草加青年会議所
-----	----------------

2018年度 収支予算書
2018年1月1日から年12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計						収益事業等会計				法人会計	合計
	青少年育成事業	地域貢献事業	国際交流事業	環境保全事業	共通	小計	会員研修事業	会員交流事業	共通	小計		
(1) 経常収益												
受取入金	0	0	0	0	120,000	120,000	0	0	60,000	60,000	120,000	300,000
新入会員入金	0	0	0	0	120,000	120,000	0	0	60,000	60,000	120,000	300,000
受取会費	0	0	0	0	3,883,200	3,883,200	0	0	1,941,600	1,941,600	3,883,200	9,708,000
正会員会費	0	0	0	0	3,072,000	3,072,000	0	0	1,536,000	1,536,000	3,072,000	7,680,000
新入会員会費	0	0	0	0	240,000	240,000	0	0	120,000	120,000	240,000	600,000
特別会員会費	0	0	0	0	561,600	561,600	0	0	280,800	280,800	561,600	1,404,000
賛助会員会費	0	0	0	0	9,600	9,600	0	0	4,800	4,800	9,600	24,000
事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青少年育成事業参加費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域貢献事業参加費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際交流事業参加費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
環境保全事業参加費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会員研修事業参加費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会員交流事業参加費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,460,000	1,460,000
寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,460,000	1,460,000
雑収益	0	0	0	0	500	500	0	0	0	0	47,500	48,000
受取利息	0	0	0	0	500	500	0	0	0	0	1,500	2,000
その他雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46,000	46,000
経常収益計	0	0	0	0	4,003,700	4,003,700	0	0	2,001,600	2,001,600	5,510,700	11,516,000

2018年度 収支予算書

2018年1月1日から年12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計						収益事業等会計				法人会計	合計
	青少年育成事業	地域貢献事業	国際交流事業	環境保全事業	共通	小計	会員研修事業	会員交流事業	共通	小計		
(2)経常費用												
事業費	2,304,539	2,318,761	0	0	0	4,623,301	204,392	670,756	0	875,148		5,498,449
会場設営費	180,000	170,000	0	0	0	350,000	10,000	210,000	0	220,000		570,000
企画・演出費	410,000	570,000	0	0	0	980,000	20,000	120,000	0	140,000		1,120,000
講師関係費	70,000	200,000	0	0	0	270,000	0	0	0	0		270,000
広報費	140,000	200,000	0	0	0	340,000	0	0	0	0		340,000
資料作成費	40,000	180,000	0	0	0	220,000	0	0	0	0		220,000
旅費	20,000	0	0	0	0	20,000	0	0	0	0		20,000
記念品費	170,000	0	0	0	0	170,000	0	50,000	0	50,000		220,000
保険料	20,000	10,000	0	0	0	30,000	10,000	0	0	10,000		40,000
切手代	10,000	30,000	0	0	0	40,000	10,000	0	0	10,000		50,000
通信・発送費	108,333	83,333	0	0	0	191,667	16,667	16,667	0	33,333		225,000
什器備品費	133,514	102,703	0	0	0	236,216	20,541	20,541	0	41,081		277,297
消耗品費	42,208	32,468	0	0	0	74,675	3,247	139,610	0	142,857		217,532
賃借料	329,333	253,333	0	0	0	582,667	25,333	25,333	0	50,667		633,333
広告費	44,828	34,483	0	0	0	79,310	0	0	0	0		79,310
会議費	46,250	37,000	0	0	0	83,250	46,250	46,250	0	92,500		175,750
労働保険料	8,667	6,667	0	0	0	15,333	667	667	0	1,333		16,667
修繕費	8,667	6,667	0	0	0	15,333	667	667	0	1,333		16,667
雑費	10,541	8,108	0	0	0	18,649	1,622	1,622	0	3,243		21,892
給料手当	468,000	360,000	0	0	0	828,000	36,000	36,000	0	72,000		900,000
退職給付費用	44,200	34,000	0	0	0	78,200	3,400	3,400	0	6,800		85,000

法人名

公益社団法人 草加青年会議所

2018年度 収支予算書

2018年1月1日から年12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	合計	
	青少年育成事業	地域貢献事業	国際交流事業	環境保全事業	共通	小計	会員研修事業	会員交流事業	共通			小計
管理費												
通信・発送費											125,000	125,000
什器備品費											102,703	102,703
消耗品費											32,468	32,468
賃借料											126,667	126,667
広告費											20,690	20,690
会議費											194,250	194,250
労働保険料											3,333	3,333
修繕費											3,333	3,333
雑費											8,108	8,108
給料手当											180,000	180,000
退職給付費用											17,000	17,000
交際費											50,000	50,000
渉外費											210,000	210,000
慶弔費											150,000	150,000
交通費											5,000	5,000
諸会費											60,000	60,000
会員記念品費											120,000	120,000
報告書作成費											100,000	100,000
印刷製本費											400,000	400,000
社団法人登録費											30,000	30,000
記録費											10,000	10,000

2018年度 収支予算書
2018年1月1日から年12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	合計	
	青少年育成事業	地域貢献事業	国際交流事業	環境保全事業	共通	小計	会員研修事業	会員交流事業	共通			小計
JCI負担金											92,035	92,035

法人名	公益社団法人 草加青年会議所
-----	----------------

2018年度 収支予算書

2018年1月1日から年12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計						収益事業等会計				法人会計	合計
	青少年育成事業	地域貢献事業	国際交流事業	環境保全事業	共通	小計	会員研修事業	会員交流事業	共通	小計		
当期一般正味財産増減額	△ 2,304,539	△ 2,318,761	0	0	4,003,700	△ 619,601	△ 204,392	△ 670,756	2,001,600	1,126,452	2,035,439	2,542,290

第 4 号 議 案 資 料

2018年度公益目的事業計画書（案）承認に関する件

2018年度 事業計画書

公益社団法人 草加青年会議所

事業名称	青少年育成事業		
事業番号	公1		
事業内容	草加に居住する児童又は青少年の健全な育成を目的とする講演、実践教育等の事業		
別表の号	7・青少年育成		
事業分類	1・講座、セミナー、育成、体験活動、競技会		
実施場所	草加市内外	実施日時	1月1日～12月31日
対象者 参加人数	40,000人	事業予算	1,060,000円
事業目的	<p>未来を担う子ども達が、自分の将来や夢を思い描いたり、困っている誰かの為に何かを生み出したという強い想いを抱ける事が必要であると考えます。その為に、青少年に対して、持続可能な興味を持たせる事によって、人に感動を与えられるひらめきを生むきっかけづくりになる機会の提供を行い、思いやりのある心豊かな青少年の育成を目的とします。</p> <p>また、競技会として「わんぱく相撲」を開催します。参加する選手に「スポーツとしての相撲」を通じ、「礼」を学び、「努力する」ことや「思いやり」など、社会生活に必要な特性を涵養することを事業の目的とします。</p> <p>そして、青少年育成事業は地域の方々や保護者、行政、教育関係者など地域全体を巻き込むことが必要であり、地域の諸団体と連携して健全育成事業を展開することを目指します。</p>		
事業概要	<p>事業実施手順としては、4月末に予定しているメインの体験型イベントに向けて、講座や制作作業などの活動を月に数回行います。その後、数回、多方面の諸団体と協働し、自分達が住んでいる地域の資源に触れる活動を屋内外で行います。</p> <p>「わんぱく相撲」は6月に行われる「市内青少年相撲大会」にて優秀な成績を収めた選手が、「わんぱく相撲埼玉大会」に出場でき、入賞すると8月に行われる全国大会に出場できます。</p>		
具体的な広報方法	1. 草加市教育委員会と協力し草加市全小中学生を対象にポスター・チラシ等で案内します		
分類のチェック事項	<p>2. 本年度のテーマは「ONE FOR ALL～1人はみんなのために～」となっております。思いやりの心を育む為に機会の提供を行います。</p> <p>3. 県大会への出場基準は地区大会での3位入賞者までの中で選考する事になっており、いずれの選手においても各出身学校の校長・担当教諭への報告を行います。又、相撲の判定にあたっては、草加青年会議所のメンバーも副審の資格を取って勤める等、公正に運営を進めます。</p>		
公益事業該当理由	本事業は	青少年の育成	を図るために
		講座、セミナー、育成、競技会	を実施するものであって
		人に感動を与える事業	を通じて
	<small>困っている誰かの為に何かを生み出したいという強い想いを抱く為</small>		に寄与する点において
	公益目的事業に該当すると考えます。		
その他の説明	特にありません		

2018年度 事業計画書

公益社団法人 草加青年会議所

事業名称	地域交流事業		
事業番号	公2		
事業内容	地域交流を目的とする事業		
別表の号	19・地域貢献		
事業分類	1・講座、セミナー、育成 2・体験活動等 3・調査・資料収集		
実施場所	草加市内	実施日時	
対象者 参加人数		事業予算	1,460,000円
事業目的	<p>草加地域社会の健全な発展には、草加地域に携わる人々の安心が必要不可欠です。時代の発展もあり、現在は生活面に於いて不自由無く暮らせる時代となりました。不自由無く暮らせる時代は素晴らしい事ですが、その反面便利な時代となった事から、人とのコミュニケーションが希薄化していき、繋がりが途絶え身の周りに起きている問題を見て見ぬふりをしてしまいます。草加地域に携わる人々が思いやりの心を持ち、心豊かになるべく本年度の事業を行います。</p>		
事業概要	<p>草加市に数ある団体と共に草加市内各地域問題の調査研究をし、身の周りで起きている問題に当事者意識を持ち解決できる仕組みを構築し、市民に発信して市民が思いやりの精神の基、自らが感じて人から人への伝播を心がけるよう事業展開を行います。</p>		
具体的な広報方法	1. 広報の具体的な方法を記載		
分類のチェック事項	<p>2. 事業分類のチェック項目(事業計画書注意点参照)の要件を満たすように記載 3. 4.</p>		
公益事業該当理由	本事業は、草加地域に携わる人の当事者意識向	を図るために	
	調査研究の基、体験活動 1年間の事業	を実施するものであって を通じて	
	草加地域に携わる人に心豊かに暮らせるまち	に寄与する点において	公益目的事業に該当すると考えます。
その他の説明	補足事項を記入		

2018年度 事業計画書

公益社団法人 草加青年会議所

事業名称			
事業番号	公3		
事業内容	国際相互理解の促進及び国際社会への貢献を目的とする実践教育等の事業		
別表の号			
事業分類			
実施場所		実施日時	
対象者 参加人数		事業予算	
事業目的			
事業概要			
具体的な広報方法			
分類のチェック事項			
公益事業該当理由			
その他の説明	2018年度は国際事業は計画いたしません。		

2018年度 事業計画書

公益社団法人 草加青年会議所

事業名称			
事業番号	公4		
事業内容	環境保全を目的とする体験活動、講演会、調査、資料収集等の事業		
別表の号			
事業分類			
実施場所		実施日時	
対象者 参加人数		事業予算	
事業目的			
事業概要			
具体的な広報方法			
分類のチェック事項			
公益事業該当理由			
その他の説明	2018年度は環境保全事業は計画いたしません。		

第 5 号 議 案 資 料

2018年度資金調達及び設備投資の見込み（案）に関する件

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類（案）

公益社団法人草加青年会議所

（平成30年1月1日から平成30年12月31日まで）

（1）資金調達の見込みについて

平成30年度中に資金調達予定はありません。

（2）設備投資の見込みについて

平成30年度中に設備投資予定はありません。

以 上